

各 位

会 社 名 IMV株式会社

代表者名 代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫
(J A S D A Q ・ コード 7 7 6 0)

問合せ先

役職・氏名 大阪営業所長 秋吉 謙治

電話 0 6 - 6 4 7 8 - 2 5 7 5

新方式の環境信頼性評価システムを開発

動電式振動シミュレーションシステムで国内シェアトップのIMV株式会社(本社:大阪市西淀川区、代表取締役会長兼社長:小嶋 成夫)は、試験時間の大幅短縮を可能とする新方式の環境信頼性評価システム「インピーダンスマイグレーションテスター MIG-88」及び既存マイグレーションテスターと組み合わせることで、パルス信号を印加することができるオプションユニット「パルスマイグレーションテスター PMU-100」を開発いたしました。量産品の受注開始に先立ち、平成 18 年 1 月 18 日~20 日に東京ビックサイトにて開催される「第 23 回エレクトロテスト・ジャパン」に出展いたします。

記

マイグレーションテスターとは

マイグレーションテスターは、多層化、高密度化が進むプリント配線基板において、配線や電極に使用している金属がイオン化し、析出成長することによりショートする現象(イオンマイグレーション)を評価・測定する検査装置です。当社では「マイグレーションテスター MIG シリーズ」やマイグレーション試験専用チャンバーなど、信頼性評価に関する製品を多数扱っております。

製品化の狙い

<MIG-88>

規格化されているマイグレーションテストは約 1,000 時間の試験時間が必要であり、製品ライフサイクルの短期化が進んでいる今日においては、試験時間を短縮できるテスターの開発が待ち望まれておりました。MIG-88 は、従来の絶縁抵抗計測に加え静電容量の計測も行なうことで、イオンマイグレーションの成長過程から早期に試験結果を予測し、試験時間の大幅短縮を実現する画期的な高性能テスターです。

<PMU-100>

従来のイオンマイグレーションの評価は直流バイアスを印加しておりましたが、実際のデジタル回路・基板等は、交流(パルス)で動作しており、実際の回路・基板に即したパルスマイグレーションの評価に対する要望が高まっております。PMU-100 はマイグレーションテスターのオプションであり、既存のテスターと組み合わせることでパルスマイグレーションの評価を容易に実現します。

主な特長

<MIG-88>

- ◆ マイグレーション成長過程から試験結果を予測することで試験時間を大幅短縮
- ◆ パターン剥離モード不良の計測が可能
- ◆ USB で簡単に接続でき面倒な初期設定も不要
- ◆ 定価: 450 万円
- ◆ 受注開始時期: 平成 18 年 6 月
- ◆ 販売予定台数: 10 台/年

<PMU-100>

- ◆ 既存のテスターと組み合わせることで、パルスマイグレーションの評価を実現
- ◆ パルスの種類、周波数/デューティが選択可能
- ◆ 1グループ単位で、標準マイグレーションとパルス印加の同時使用が可能
- ◆ 定価：450万円（16チャンネル） / 950万円（64チャンネル）
- ◆ 受注開始時期：平成18年1月
- ◆ 販売予定台数：10台/年（16チャンネル） / 20台/年（64チャンネル）

以上